

感染症の予防のための情報提供について

病 名	腸管出血性大腸菌感染症（O 2 6）				
年齢及び性別	2 0 代・女性	職 業	大学生		
住 所	亀山市				
発 病 年 月 日	令和 7 年 7 月 2 4 日				
診 断 年 月 日	令和 7 年 8 月 2 日				
（患者発生の経過） 7 月 2 4 日 腹痛の症状がみられた。 7 月 2 5 日 下痢、発熱の症状がみられた。亀山市内の医療機関 A を受診。 7 月 2 8 日 症状継続のため、亀山市内の医療機関 B を受診。 8 月 2 日 7 月 2 8 日の便検査から腸管出血性大腸菌感染症と診断された。 現在、患者は快方に向かっています。					
【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施（鈴鹿保健所）					
【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む）					
	2 0 2 1 年	2 0 2 2 年	2 0 2 3 年	2 0 2 4 年	2 0 2 5 年
患者	2 5	2 9	3 4	3 2	1 7
保菌者	1 2	2 3	2 3	1 2	2
計(感染者)	3 7	5 2	5 7	4 4	1 9
※ 2 0 2 5 年 1 月 1 日～2 0 2 5 年 8 月 4 日現在まで本件含む 2 0 2 5 年内 患 者：O 1 5 7（1 0 人）O 1 0 3（3 人）O 2 6（2 人）O 1 2 1（1 人） 型不明（1 人） 保菌者：O 2 6（1 人）型不明（1 人）					
【自分でできる対策】					
1 予防の 3 原則					
① 加熱（菌を殺す） この菌は熱に弱く、7 5℃、1 分の加熱で死滅します。 肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。 ひき肉は、十分に加熱をしましょう。 焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。 井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。					
② 迅速・冷却（菌を増やさない） 調理した食品はすぐに食べましょう。 冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）に入れましょう。					
③ 清潔（菌をつけない） 手指や調理器具は十分に洗いましょう。					
2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。					
3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。					